

あの時、なぜ写真を撮らなかったのか、

前橋市市制施行130周年記念



反戦の思いをこめて、毎夏、前橋文学館が送る清水邦夫戯曲のリーディング
リーディングシアターフェス2022 in マエバシ〈第3弾〉

イエスタデイ

2022年8月28日(日) 13時 & 15時公演

※開場は開演の30分前です

会場:前橋文学館3階ホール

定員:各回50名(要予約)

観覧料:500円(当日支払)

電話予約・お問い合わせ

027-235-8011

主催 前橋文学館 協力 NPO 法人波宜亭倶楽部

作 清水 邦夫
演出 荒井 正人
音楽 KPC
照明・音響 前橋文学館
当日制作 中島真理子・浅原美佐
制作 演劇プロデュース
とろんぷ・るいゆ

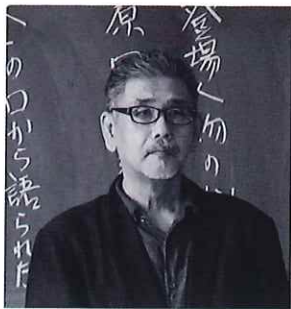
稲葉次郎
稲葉塩子
浦田源一
浦田 海
浦田 雪
浦田 夢
矢坂(出征兵士)
ナレーター

高橋 幸良(人形劇団やまねこ座-人形劇工房)
沢村希利子(劇団シブバ)
萩原 朔美(前橋文学館館長)
中村ひろみ(演劇プロデュースとろんぷ・るいゆ)
亀井 優
星野ひかり
富井 大遥
ミヤビミカド(劇団Dice)



《あらすじ》

昭和20年1月、東京から浦田家の四人きょうだいが、日本海沿いのある町の写真館に疎開してくる。迎え入れた稲葉姉弟との交流、ヘルマン・ヘッセの詩、意思の強さゆえの衝突。やがて浦田きょうだいは、別の親せきを頼りに長崎へと向かう…。



演出：荒井正人

1953年生まれ、早稲田劇研を経て劇団『葡萄舎』等で劇作・演出・俳優。共愛学園高校演劇部顧問として文化庁長官賞、文部大臣賞他。前橋演劇祭『橋屋』監修。前橋文学館リーディングシアター清水邦夫作『イエスタディ』演出。白水社『つかこうへい実践演劇講座』執筆。



音楽：KPC

ジャズドラムの技法やアフリカ、アラブを根源としたインプロバイザーとして、様々な演奏形態や多様な楽器、時に非楽器をも用いた演奏を行っている。国重要有形民俗文化財・上三原田の歌舞伎舞台創建200年祭『夏の夜の夢』出演。



浦田源一：萩原朔美

1946年11月、東京都生まれ。寺山修司が主宰した「天井桟敷」の旗揚げ公演で初舞台を踏む。俳優の傍ら、演出を担当し映像制作も始める。版画や写真、雑誌編集とマルチに才能を発揮する。著書多数、多摩美術大学名誉教授。2016年4月から前橋文学館館長。



浦田雪：亀井 優

1995年生まれ、前橋市在住。高校演劇部の経験を経て、現在会社員をしながらフリーの役者として活動中。2015年萌黄団「舞え舞えかたつむり」、21年劇団ザ・マルク・シアター「アンジュー」、22年iMap「赤鬼」。



稲葉塩子：沢村希利子

劇団シブパ所属。群馬県みどり市出身。2012年劇団シブパ入団、6作品に出演、1作品で脚本・演出を務める。2014年～2016年及び2020年、劇団灰ホトヲにて5作品に出演。



稲葉次郎：高橋幸良

香川県生まれ高崎市在住の人形劇俳優。群馬県唯一のプロ人形劇団やまねこ座-人形劇工房-を主宰。まーやの家企画部長。しあわせ太鼓演出部。育英短期大学と茨城大学で非常勤講師を務めてきた。第30回JOMO童話賞最優秀賞受賞。



矢坂(出征兵士)：富井大遙

1997年生まれ。2013年劇団ザ・マルク・シアター入団。現在フリー。本年第50回朔太郎忌「謎めぐり『月に吠える』の事件簿」では、恩地孝四郎を演じた。10月演劇ユニットTEAM FREE「男亡者の泣きぬるところ」(at未来スタジオ)出演予定。



浦田海：中村ひろみ

東京都出身。明治大学文学部演劇学科卒業。1989年より前橋市在住。演劇プロデューサーとろんぷ・るいゆ主宰・役者。空間の文化と歴史を生かした作品作りを続ける。2016年vol.01以来、前橋文学館リーディングシアターの制作・演出・出演多数。



浦田夢：星野ひかり

高校演劇部を経て、前橋市民ミュージカルの出演をきっかけに県内の演劇にふらふらと参加し始める。2017年楽市灯座「頭痛肩こり樋口一葉」、19年とろんぷ・るいゆの農村舞台でシェイクスピア「夏の夜の夢」、21・22年iMap「赤鬼」。



ナレーター：ミヤビミカド

ボーカリスト・声優・イベントMC。東京での活動を経て現在は地元群馬を拠点に活動。自身の出演の他、歌や芝居の基礎レッスン、こころのワークショップ、ライブイベント等を開催。Diceエンターテインメント代表。劇団Dice主宰・演出。

予約方法

お申し込みは各回共、公演日の前月最初の日曜日から前橋文学館 027-235-8011まで

※ご予約は先着順となります。※入館に際しては、マスク着用等の感染対策をお願いいたします。※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、開催内容等に変更が生じる場合があります。ご来館の際は事前にホームページ、もしくはお電話にてご確認ください。

萩原朔太郎記念 水と緑と詩のまち
前橋文学館

TEL:027-235-8011 FAX:027-235-8512
https://www.maebashibungakukan.jp
〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目 12-10



※瀧川サンパーク(市営P)のご利用に際しては、駐車券に割引処理をいたします。

前橋文学館



稽古日誌、
演出メモは
こちらから



イエスタデイ facebook